

# なとり市議会だより

2021.8.1 No.175 令和3年6月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



那智が丘地区では地域まちづくり活動が住民主体で行われています。

この地域との連携による取組が高く評価され、那智が丘公民館は令和2年度に文部科学省の優良公民館表彰で最優秀館に選ばれました。

## CONTENTS

議員が聞いたこんなこと……………P2

仙台空港の24時間化に伴う地域振興策に取り組みます……………P8

生理用品の無償配布に取り組みます……………P9

N-WATCH(エヌ・ウォッチ)……………P12



野菜市3周年記念&餅つき大会の様子  
(平成30年11月2日撮影)

# 議員が聞いた

## こんなこと

# 一般質問

### 一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。6月定例会では、11人の議員から25項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」からご覧ください。



聴報  
広広

市民要望等に対応する  
「広聴・広報」のルール化を



菊地 昌夫

**Q** 市庁舎には市民からの質問や相談等に応じる「目安箱」があり、ホームページには「ご意見・ご質問」との欄がある。要望や提案、意見等に対する「広聴・広報」の在り方として、現状をどう捉えているか。

**A** 市民から直接ご意見等を頂く重要なツールとして捉えており、引き続き適切な運用に努めていきたい。

**Q** ホームページに「意見／提案／要望」についてはご投稿を承りますが基本的には回答致しかねますので、ご容赦ください」とあるが、このことについてどう捉えているか。

**A** 基本的には回答していると捉えているが、表現が良くないところは改めたい。

**Q** 市民から寄せられる要望や提案、意見等に適切な対応をするため、他自治体を参考に「広聴・広報」に関するルールやガイドラインを整備すべき。

**A** 市民からのご意見や要望には、各担当課において職員一人一人が市民の立場に立ち、対応することが前提と捉えている。広聴・広報に関するルールやガイドラインについては、目安箱のルールも踏まえ、他自治体を参考に整備したい。

**Q** 市民の声の見える化に努めるべき。

**A** PDCAとして受付から対応、公表までをどのようにできるか、前向きに検討したい。

質問した内容  
1 市民から寄せられる要望等への対応



福祉

## 生理用品の設置と無償配布を 実施すべき



小野寺 美穂

**Q** 「生理の貧困」を、どう捉えているか。

**A** 経済的理由で生理用品を買えず、利用できない状況であることを指し、先進国でも問題となっている。

**A** 教育課題の一つであると捉えている。

**Q** 単に生理用品だけの問題ではない部分も多い。生理の貧困は、尊厳の問題でもあり、教育の機会の喪失にもつながっている。そのような負担軽減の観点からも市内の全ての公共施設、小中学校の女子トイレに生理用品を設置すべき。

**A** 公共施設に設置する場合、衛生上の観点から課題もあるが、先進事例を研究し、設置に向けて検討したい。

**A** 保健室に、ある程度の数を配備している。学校のトイレへの常備は、コロナ禍の中で、経済的な影響が深刻な状況にあるため、先進事例等を研究し、設置に向けて検討したい。

**Q** 多くの自治体で生理用品の無償配布を実施している。本市でも市の窓口で生理用品の無償配布を実施すべき。

**A** 他市で生理用品の無償配布を実施していることは承知している。提案のとおり、市の窓口での無償配布を考えている。まずは、災害時の備蓄として保管してある生理用品を社会福祉課で配布し、その後の配布分の購入費用として、6月追加補正に予算計上を検討している。

### 質問した内容

1 生理の貧困

2 健康二次被害防止

水道

## 宮城県の上下水一体官民連携 運営について注視すべき



大友 康信

**Q** 宮城県上下水一体官民連携運営が導入されることに對し、懸念する声が署名運動として上がっている。

**A** このような懸念について自治体間で情報の共有がなされているのか伺う。

**A** 様々な意見があることは承知している。県からは「これまでどおり、水道事業者としての最終責任を持ち続けた上で公共性を担保していく」と説明を受けている。自治体間では仙南・仙塩広域水道受水団体連絡会の場で情報共有し、県への意見要望を行っている。

**Q** 既に導入した諸外国では、様々な問題や理由から再公営化へと舵を切り直しているところが多い。より慎重に決めるよう県に進言すべきではないか。

**A** 本市において、導入により水質や経営状況などに影響が出ることのないよう注視していくとともに、17の市町で構成されている連絡

会の場において情報交換を行い、今後にも必要に応じて県へ意見要望を行う。

**Q** 運営の内容と懸念や問題点について把握するために、県の説明会の動画と資料と併せて、インターネット上にある日本の水道の危うさを訴える動画を見ると分かりやすい。市長の持つ印象と考えは。

**A** 県の資料は将来の課題を背景に提案されたもので県議会での議論も注視していく。県には今後も丁寧に説明する姿勢を続けてほしい。

### 質問した内容

1 上下水道の運営

2 防災訓練



安全  
遊歩道に土砂災害防止策を施し  
住民や学校の安全確保を



佐々木 哲男

**Q** 仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書の地域振興策により、県道愛島名取線の安全対策事業が、県主体で西側にガードパイプを設置し歩道空間を設ける案が進められようとしている。市では、この事業をどのようにに捉え、どう対応するか。

**A** 歩行者を守る効果は高いが、限られた道路空間での対策であると捉えている。今後、事業主体である県には、広く沿線住民の方々に丁寧な説明を行い、地区全体のご理解を得て事業を進めて頂く必要があるものと考えている。

**A** 教育委員会としては、児童生徒にとって、より安全・安心な対策が図られることを望んでおり、今後も市長部局や学校と情報共有を図っていく。

**Q** この地域振興策を機に、土砂災害警戒区域に指定された館腰遊歩道の危険区域

に、土砂災害から近隣住民の安全は元より児童生徒を守るため、崩落土砂防護柵等を設置し、安全対策を推進すべき。

**A** 利用者の安全を確保する観点から、専門家による当該区域の現地調査の結果を踏まえ、具体的な安全対策に向けた検討方針を考えていく。

**A** 今後も学校と情報を共有しながら、児童生徒にとって、安全・安心な対策が図られるよう努めていきたい。

質問した内容  
1 仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書



営宅  
公住  
市営住宅の管理運営を  
地元事業者に見直すべき



大久保 主計

**Q** 市営住宅入居者の高齢化が進む中で、自治会が行う周辺の環境整備や、共益費の集金が難しくなっていないか。復興公営住宅は敷地も広い。自治会に代わって管理者が共益費を集金し、外注して維持管理を行う手法は考えられないか。

**A** 自治会からは、参加できる方々で清掃活動等を継続したいと聞いている。清掃範囲が広いため、市は今年から年1回、共有スペースや緑地などの清掃を行い、自治会を応援していく。

**Q** 市営住宅の管理運営について、市民に寄り添う視点から、宮城県住宅供給公社による管理代行を見直し、市内事業者による指定管理を提案するがどうか。

**A** 管理代行から指定管理に切り替えることは現時点では考えていない。

**Q** 市内民間事業者による指定管理は、市内経済の活性化と雇用の創出が図られ、

地域循環型のビジネスモデルになる。迅速で円滑なサービス提供のため検討してはどうか。

**A** 比較検討が必要という観点はある。基本的に地元の事業者を優先できる体制にしたいが、管理運営には複雑で特別なノウハウが必要になる。持続的に事業を進めるため、公社の安心感やノウハウと、地元の雇用創出による経済活性化とのバランスを取って進めることになるが、地元の事業者から具体的な提案があれば検討したい。

質問した内容  
1 コロナ禍における危機管理体制  
2 消石灰による消毒  
3 公営住宅の管理運営  
4 上下水道事業



子育て

## 障がい児保育事業の 対象を拡大すべき



吉田 良

Q 市の障がい児保育事業は、3歳以上の心身に障害を持つ幼児で、障害児保育指導委員会において集団保育が可能と認定された者を対象としている。第2期名取市子ども・子育て支援事業計画には「3歳児未満の保育についても検討する」とあるが、いつまでに結論を導く考えか。

A 計画期間内に検討を行い、対応を講じていきたい。県立視覚支援学校に令和4年4月、幼稚園が開設する。平成30年頃に保護者から要望があり、スピード感を持って対応された印象を受ける。本市も令和3年度中に検討の結果を示すべき。

A 令和6年度までの取組に関する計画であるため、計画期間中にできるだけ早く結論を導きたい。

Q 仙台市は、生後5か月以上の特別な支援が必要な子どもに対す「プラス支援保育」を実施している。な

A 障がい児への手厚い対応と現場の安全性との両立を図る上で難しさがある。

Q 本市は昭和50年4月に県内で初めて障がい児保育を実施した。この決断こそ、本市の歴史において最高に輝かしい誇りの1つであると思う。障がい児保育事業について、国の基準以上の手厚い対応に取り組む県内先進地としての地位の回復を目指すべき。

A 共生社会を目指す中で、検討して進めていきたい。

A 質問した内容

- 1 地域防災力の向上
- 2 障がい児保育事業の対象の拡大



教育

## 第一中学校の屋外施設の 現況確認と改善を



齋 浩美

Q 問もなく学校沿いに県道愛島名取線が開通する。防球ネットの高さや防砂ネットなどの問題や課題は。

A 敷地境界に近い場所で行う部活動の野球を想定し、敷地東側に高さ約8mの防球ネットがある。県道に最も近い箇所は、ホームベースから約40mあり、その間に防球ネットや公道、民地がある。県道が直接学校敷地と接する位置は、ホームベースから約100mあり、ここまでボールが飛ぶことは通常ないと想定しており、現時点では十分に安全を満たしている。

Q テニスコートは雨が降ると浸水し、一定期間は部活動ができない。また、防球ネットも整備不良箇所があ

A 雨水対策は、平成27年度に排水ますの設置やU字溝の土砂上げなど軽微な修繕を実施してきたが、地形的に敷地内で一番低く、テニスコート以外の雨水も集まる構造になっている。今後は、現在の構造物を利用し、砂などの堆積物の除去・清掃を小まめに行うなど、学校と協力し、雨水排水に支障のないように維持管理をしていく。また、防球ネットの整備不良箇所は、学校と調整し対応する。

質問した内容

- 1 市内のカメラ製造工場の国内生産終了報道
- 2 第一中学校の校庭などの現状と求められる改善
- 3 公民館の将来と改善すべき課題
- 4 新一般廃棄物最終処分場建設候補予定地の進捗



防災 ペット防災手帳の作成に  
取り組むべき



菅原 和子

Q

環境省が東日本大震災の教訓から策定した「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」では、飼い主はペットと同行避難することを原則とする。災害時のペット同行避難について本市の考え方を伺う。

A

動物が苦手な方やアレルギーを持っている方などへの配慮が必要であることから、避難所の中に入ることには基本的に難しいことを説明し、その上で、避難者同士の話し合いや、施設管理者の判断により対応する。

Q

飼い主にとってペットは家族の一員であり、ペットと共に自分の身を守るため、平時からの備えが重要である。

利府町では毎年の総合防災訓練に併せてペットとの同行避難訓練を実施しており、県の獣医師会の参加やペット用防災グッズの紹介があるなど好評である。本市ではペットとの同行避難

QA

訓練を行ったことはあるか。行ったことはない。

利府町では災害時に飼い主が責任を持ってペットとの同行避難ができるよう基本的なしつけ、避難の持ち出し品リストなどを明記した「ペット防災手帳」を作成している。本市でも取り組むべき。

A

「ペット防災手帳」には、予防接種の履歴などが記載されており、ペットの受入れについての1つの基準になるものと捉えている。有効性を調査研究していく。

質問した内容

- 1 不育症
- 2 災害時のペット同行避難
- 3 がん対策



福祉 ヤングケアラーの実態を  
調査すべき



菊地 忍

Q

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どもを指すものである。令和2年度に行われたヤングケアラーの実態に関する調査によれば、全国の中学2年生と高校2年生を対象としたアンケート調査の結果、「世話をしている家族がいる」と答えた中学2年生が5・7割、高校2年生は4・1割に上った。本市でも多数のヤングケアラーがいると思慮されるが、その認識とこれまでの取組について伺う。

A

これまでヤングケアラーが問題となり対応した事例はないが、名取市要保護児童対策地域協議会代表者会議の中で、宮城県中央児童相談所長よりヤングケアラーに関する講話を頂き、取り巻く諸課題について理解を深めたところである。

Q

児童生徒の将来に影響を及ぼすことも考えられ、教育課題の1つであると認識している。

ヤングケアラーの実態を把握し切れていないために支援の手が届いていないのではないかと考える。本市におけるヤングケアラーの実態を調査すべき。

A

ヤングケアラーの問題は潜在化しやすいため、実態の把握に努めることが重要である。児童相談所や教育委員会などの関係機関と協議し、調査の体制や手法について検討する。

質問した内容

- 1 ヤングケアラーへの支援
- 2 移住支援への取組

感染症  
対策

## 市独自で優先接種対象の 拡大を



荒川 洋平

**Q** 新型コロナウイルスワクチンの現在の接種状況は。

**A** 現在65歳以上の希望者に対し、集団接種と個別接種を実施している。集団接種は、6月13日までに1回目の接種を受けた方の合計は7580人で、個別接種は6月9日までの予約人数が937人である。高齢者施設の入居者は、6月7日現在で、58軒にあたる550人が2回目の接種まで終了している。

**Q** 接種状況を市ホームページで公表してはどうか。

**A** リアルタイムの数字を出せるか不明だが検討する。  
**Q** 空白期間を生じさせないよう、64歳以下の一般接種を進めるべき。

**A** 接種券は60歳以上64歳以下の市民へ6月22日に、50歳以上59歳以下の市民へ23日に送付する。その後順次送付予定で、接種開始は7月11日からの予定である。

**Q** 12歳から15歳についての接種の考え方、進め方は。

**A** 現在慎重に検討している。国が示している優先接種対象者以外を対象とするかは、自治体の判断に委ねられているのが実情である。本市として、保育士や教職員などの職種についても優先接種対象とすべき。

**A** 市内在住が条件になるが、保育士、小中学校高校の教職員、高齢者施設・福祉施設・児童センターの職員・幼稚園教諭・民生委員・児童委員を優先接種対象者として考えている。

- 質問した内容
- 1 新型コロナウイルスワクチンの現在の接種状況と今後の一般接種の想定
  - 2 市民のスポーツ活動



感染症  
対策

## 高齢者福祉施設の新型コロナウイルス 対策と対応は



笹森 波

**Q** 市内高齢者福祉施設の入所者や職員の新型コロナウイルスワクチン接種とPCR検査の実施状況は。

**A** 市内29施設の入所者は944名で職員が798名である。550名の入所者と29名の職員が2回目の接種をした。PCR検査は職員を対象に2施設で実施したことを確認している。

**Q** 施設での新型コロナウイルス感染者の発生状況を把握しているか。

**A** 施設側、市ともに一定の対応が取られてこなかった面がある。直ちに県のガイドラインに沿って運用するように改めて各施設に通知し、発生状況の詳細把握に努めていく。

**Q** 施設内で感染者が発生した場合の対応状況を把握しているか。

**A** 各施設からの報告をそのまま受けるといって運用だったため、詳細な報告を受けた施設とそうでない施設が

あり、状況把握が一律ではなかった。今後は「発生時の対応」「発生後の対応」「再発防止策」などの詳細の把握に努めていく。

**Q** 施設内で感染者発生情報を得た際、聞き取りを行い、必要な支援を検討すべき。

**A** 施設への指導対応は第一義的には県が行うが、本市としても県や関係機関と連携し、平常の施設運営を早期に回復できるように、可能な範囲で支援に取り組んでいく。

- 質問した内容
- 1 市内の高齢者福祉施設の新型コロナウイルス感染症対策
  - 2 被災者支援



# 6月定例会 議案審議

## 名取市の

## こんなことが決まりました

6月定例会 会期 6月10日～23日

### 6月定例会の議案は 市長提出議案

報告	5件
専決処分	6件
条例	8件
補正予算	3件
議決案	2件
<b>議員提出議案</b>	
会議規則	1件
意見書	1件
<b>計26件</b>	

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をご覧ください。



〔議案第77号〕 令和3年度一般会計補正予算（第4号）

### Pick up 1

仙台空港の24時間化に伴う  
地域振興策に取り組みます

こんな質疑がありました

**交通安全施設整備事業について**

**AQ** 街路灯設置工事の場所は、地元からの要望により杉ヶ袋北地区と杉ヶ袋南地区にそれぞれ10基ずつ設置する。

**Q** 他に設置を予定している箇所はあるか。

**A** 地元との調整に基づき、設置を行うものであり、他に設置予定の箇所はない。

**空港周辺対策事業について**

**Q** 北目集会所に関する地域からの要望内容は、現地再建や移転はあるのか。

**A** 老朽化が進んだ北目区生活センターを建て替える要望であり、場所については現地再建も含め、地元で適地を探している。

**今後の見通しは。**

**AQ** 令和3年度中に場所の選定・用地買収、令和4年度に設計、令和5年度に建設、令和6年度からの使用開始を目指している。



## Pick up 2

### 児童センターの職員不足の解消に取り組みます

こんな質疑がありました

**児童センター管理運営事業人材紹介手数料について**

**Q** これまでの経緯と金額の詳細は。

**A** 令和2年度末で児童センターの職員が3名退職し、ハローワークで募集したが応募がなく、人材紹介会社を通じて募集することとなった。  
金額の4百5万2千円は退職した3名分と今後も不足する事を想定し、さらに3名分を加えた6名分の予算である。

**Q** 夏休み前までに職員は紹介されるのか。

**A** 不足が生じた3名分は、既定予算を流用して対応した。流用分を補うものに加え、不測の事態に備えるため、紹介手数料を措置する。

**不登校生徒学び支援教室充実事業について**

**Q** 新たに予算措置されたが詳細は。

**A** 令和2年度末に拡充となった県の補助事業で、市内の4中学校を対象とし、教室運営に必要な消耗品及び備品等の購入費用を措置するものである。

## Pick up 3

### 生理用品の無償配布に取り組みます

こんな質疑がありました

**AQ** 具体的な内容は。

**AQ** 市窓口や市内小中学校において、生理用品を無償で配布する。

**AQ** 配布方法は。

**AQ** 配布は社会福祉課のほか、各公民館で行うことを想定しており、窓口での配布の際には紙袋に封入して対応する。

市内小中学校での配布方法やトイレへの設置方法はこれから協議する。

**AQ** 配布時期は。

**AQ** 準備が整い次第、災害備蓄品も活用しながら配布を始めた。

**AQ** 市民への周知方法は。

**AQ** 市のホームページに掲載するほか、プレスリリースを行い周知に努める。

## 審議結果

### ▶ 賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名（議席番号順）																		
					菊地昌夫	熊谷克彦	笹森波	千葉栄幸	板橋美保	大泉徳子	大久保主計	齋浩美	菅原和子	吉田良	荒川洋平	大友康信	佐々木哲男	及川秀一	菊地忍	小野寺美穂	郷内良治	丹野政喜	山田龍太郎
第3回定例会	議員	議案第3号	東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS等処理水の海洋放出について慎重な対応を求める意見書	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をごらんください。



## Topics

### No.1

#### 議員提出議案（意見書・会議規則）について

市議会では6月定例会において、「東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS等処理水の海洋放出について慎重な対応を求める意見書」を賛成多数で修正可決し、内閣総理大臣等宛てに提出しました。

また、名取市議会会議規則の一部改正について全会一致で可決しました。2月定例会では請願に係る署名押印の見直しについて改正

を行いました。今回は、女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図る観点から、本会議や委員会への欠席事由として育児、看護、介護等について明文化する改正を行いました。また、出産により欠席する際の期間について産前・産後8週間と規定する整備を行いました。

### No.2

#### 6月定例会では、1件の陳情が提出されました

#### 陳情

#### ◆名取市所有の土地の借用についての陳情

（佐藤 幸弘氏）

No.3

議員協議会

○新型コロナウイルススワク  
チン接種の実施について  
(4月26日)

新型コロナウイルススワク  
チン接種のスケジュールな  
どの説明がありました。

○本郷小規模保育所改築工  
事について(5月31日)

市道本郷堀内線の改良工  
事により本郷小規模保育所  
の建物が増設となることか  
ら、現施設の南側(園庭側)  
に移転改築することについ  
て説明がありました。

改築後も利用定員に変更  
はなく、現在の施設と同程  
度の木造平屋建て、延床面  
積434・75平方メートルの大き  
さとなることが示されまし  
た。

建物本体の建築工事期間  
は令和3年9月から令和4  
年3月までを見込み、施設  
の引っ越し等の新たな場所  
での開設準備を経た令和4



年9月の開所を計画してい  
ることの説明がありました。

No.4

令和2年度は、延べ1万5534人の方々に議会中継をご覧いただきました

パソコンやスマートフォン、タブレット等で、議会のインターネット中継を視聴できます。ぜひご利用ください。

令和2年度 視聴状況

	生中継	録画中継
令和2年4月	—	220
5月	262	211
6月	1,595	393
7月	158	234
8月	—	166
9月	4,043	415
10月	—	278
11月	116	110
12月	1,611	237
令和3年1月	—	142
2月	850	145
3月	3,999	349
	<b>12,634</b>	<b>2,900</b>

No.5

議会だより第174号掲載記事に係る  
おわびと訂正について

議会だより第174号掲載記事に一部誤りがありました。おわびして訂正いたします。

○13ページ 令和3年度予算審査 吉田 良議員の  
討論に関する記事 本文2段落目

【誤】 仙台市の藤塚・井戸浦地区  
【正】 仙台市の藤塚・井土浦地区

# N WATCH

エヌ・ウオッチ

今号の表紙を飾ってくれた、**那智が丘地区町内会連絡協議会**の皆さんからお話を伺いました。



会 長 三塚 利春 さん(左)  
相談役 馬場 文雄 さん(右)

### 地域の活動の原点は何ですか





これまでに27回開催された夏祭りが原点です。手作りの子供神輿や、各丁目で役割分担し、住民間のコミュニケーションを図ってきました。

### 具体的なまちづくりの取組を教えてください

桜の苗木に名札を付けて伝承していく桜プロジェクト、地域資源のカタクリを守り育て、語り継ぐ事業、買い物困難対策の野菜市や気軽に話す場のお茶しませんかの会などです。

### 今後の活動予定や目標はありますか

今までの事業の継続と高齢者の孤立防止、子育てしやすいまちづくりに取り組みたいです。

<p>令和3年9月定例会は、 <b>9月2日(木)</b> 開会予定です。</p>	<p><b>議会を読もう</b></p> <p>名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでもごらんいただけます。</p> 	<p><b>議会を傍聴しよう</b></p> <p>現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のご協力を頂いております。詳しくは、市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。</p> 
<p><b>会議録を読もう</b></p> <p>本会議及び財務常任委員会の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひご利用ください。</p> 	<p><b>議会を動画で見よう</b></p> <p>本会議の様様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひご利用ください。</p> <p>※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。</p> 	<p><b>議会に参加しよう</b></p> <p>議会に対して陳情等を提出することができます。</p> <p>陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。</p>

**編集後記**  
委員 菊地 昌夫

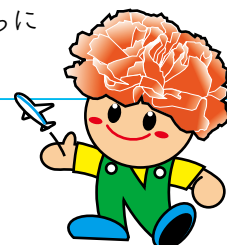
本市でも、新型コロナウイルスワクチン接種が、6月定例会に先駆けて開始されました。

今定例会では、16歳以上のワクチン接種の見直しが見られ、15歳以下の接種も順次調整し、希望者全員が接種できるよう進められているところです。

本号が発行となる頃には、東京オリン

ピックの真ただ中と思われます。引き続き開催される予定のパラリンピックも含め、世界のアスリートがスポーツを通じ、夢と希望を与えてくれる祭典になることを願っています。

人々の笑顔と活気ある日常が、一日も早く取り戻せるよう、さらに尽力していきます。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

